

実用化  
事例

天然木による木のクラフト紙(木地紙)の製品化

【相手先企業】

北三株式会社 茨城工場

【内容】

木のクラフト紙は県内木材関連企業と、国内においてユニバーサルデザインの第一人者であるトライポッド・デザイン株式会社の中川聡氏との間を当センターがコーディネートし、アドバイスを頂きながら製作した製品です。

本製品は、木という素材の、優しさや温かさを最大限に生かし、使用者ひとりひとりが様々な発想で、自由な形を手軽に作り出せるという楽しさを提供し、創造を促しながら知的または感性生活を育むことが出来る、“天然木目を生かしたクラフト紙製品”として作られました。

素材は約0.15mmの超極薄に加工された木材(通称ツキ板)から作られた製品で、木材でありながら、手でちぎったり、曲げたり、折ったりすることができます。また、光透過性にも優れるといった特徴があり、単体での製品展開のほか、インテリア用品やオフィス用品等、幅広い利用用途の可能性を持っています。

【成果】

東京ビックサイトなどでの各種展示会や各種イベント・メディア、文化教室、作家とのコラボレーションなど様々なPR活動を経て、平成18年5月に県内の大手DIYショップで正式に販売を開始されました。販売後はユーザーからのお便りも寄せられ、趣味の工作からインテリア装飾など用途の広がりを持つと好評を得ています。



イベント風景



文化教室



製品写真

基礎となった事業

平成17年度 オンリーワン技術創出創総合支援事業「癒しの木製品開発」

担当部門

産業連携室

主任 寺門秀人

主任 本庄恵美 (H16年度産業連携室)

tel : 029-293-7212